

人も元気！企業も元気！

仕事と生活の調和の実現に向けて

男女共同参画社会を実現するためには、育児や介護など個人の状況に応じた柔軟な働き方ができるとともに、地域活動などにも積極的に参加できる「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」が重要です。

岐阜県が定めた男女共同参画推進調月間である今月は、最近よく耳にする「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」について一緒に考えてみましょう。

「仕事と生活の調和」が
なぜいま必要なの？

「働くこと」を取り巻く環境は、「働きたいのに働く場所がない」「仕事に忙しすぎて生活に豊かさが実感できない」「仕事と育児・介護の責任が二者選択になっている」など大変厳しいものになっています。

こうした状況は、将来への不安や社会の活力低下、少子化、人口減少の要因にもなっています。「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」はこうした社会環境を改善し、私たちの生活を豊かで確かなものとするのです。

仕事と生活の
調和のあるべき姿

①就労による経済的自立が、

応じて多様で柔軟な働き方が選択でき、しかも公平な処遇が確保されている。

※「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」憲章より

「仕事と生活の調和」には
何が必要なの？

企業における育児・介護のための休業制度や休暇制度、フレックスタイム制や時差出勤、短時間勤務制の導入などが挙げられます。また、左記に示している心構えや実践が重要です。

「仕事と生活の調和」は
企業コストを増やすだけ？

例えば女性従業員が出産する場合、退職するよりも育児休業や短時間勤務などを利用して継続就業する方が、総合的にはコストが抑

【現状と目指すべき社会】

現在の「働くこと」を取り巻く環境

経済的自立が困難

家族との団らんが困難・過労

育児や介護との両立が困難

正社員以外の若者の増加

正社員は長時間労働

共働き世帯の増加

働くひとが、将来への不安を抱えたり、豊かさを実感できない

社会の活力の低下、少子化のさらなる進行

社会を持続可能で確かにするための取組が必要

仕事と生活の調和の推進

就労による経済的自立

健康で豊かな生活

多様な働き方・生き方の選択

これから目指すべき社会

明日への投資

